

特集「昆虫調査」

今年は台風で8月の調査が中止に！

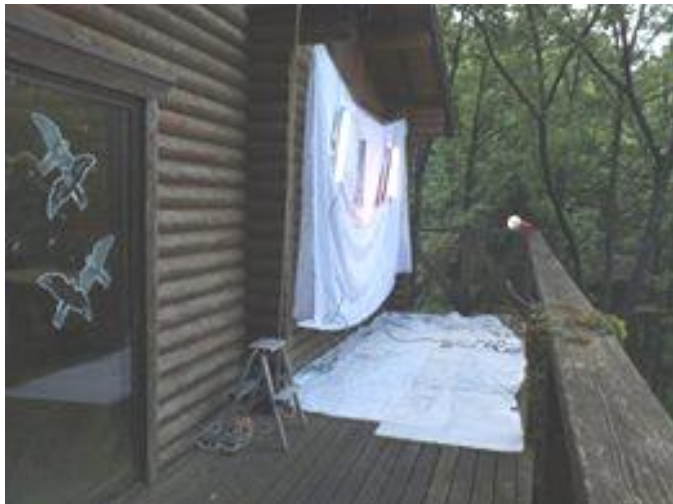
今年度もいろいろな調査方法を試行

今年度7月の昆虫調査では、昨年の経験を踏まえて改良したホイホイトラップとピットフォールトラップに加えて、ライトトラップとルート観察とさまざまな調査方法を実施しました。

8月については残念ながら台風の接近で中止となっており、トラップのみの実施となりました。

今回は柏陵高校の皆さんにも参加頂けたため、十分な人員が集まり、天気が悪かったにも関わらずある程度の成果を挙げることができました。

特に調査前のBBQ はやはり大人数が楽しめます。



ホイホイトラップを改良した成果は！？

これまで森会で設置したトラップを勝手に開けてしまうトラップ荒らしの被害があり、都度設置方法を工夫して対処してきましたが、昨年はすべて荒らされていて調査結果なしとなっていました。

今回は鎌田さんから提案いただき、ホイホイトラップに番線を取り付けて木を倒す際に使っているポールを使い、地上4m以上の高所に取り付けました。

結果は・・・見事成功でした。

今年度のトラップ荒らしは0件となり、来年以降も無事トラップ調査を継続していけそうです。

成果は梅雨明けが遅かった為、7月の調査ではカブトムシが1匹のみでしたが、8月は台風で中止となりながらも、事前に設置していたトラップを回収したところ、荒天にも関わらずカブトムシが6匹入っていました。

今年も成果の大きかったライトトラップ

古藤先生と一緒に行ったライトトラップは、森会メンバーと柏陵高校の皆さんを加え総勢20名でワイワイガヤガヤと楽しく実施することができました。

予定よりも遅くまで皆さん頑張っていたいただき、多くの昆虫を同定することができました。

昨年と違い今年は古藤先生と一緒にできたためいろいろな蛾についても調査することができました。

高校生の皆さんは、夜更かしで寝不足の目をこすりながらも翌朝の調査でも全員参加で頑張っていました。



改良版ホイホイトラップのポイント

これまでホイホイトラップについては様々な改良を加えてきましたので今回、森会が使用している改良版ホイホイトラップのポイントについて説明したいと思います。

まずは本体については2リットルのペットボトルを上側で切り、注ぎ口を外してからひっくり返して固定しています。

次に今回から新たなパーツとして番線の二股部分をペットボトルの左右に取り付け、固定のために太目の白ビニールテープを巻きつけました。

白にしたのは「調査中」「森を育てる会」といった文字が見やすくなり、高い位置に設置しても無断で仕掛けられているトラップでないことを来場者の方々に理解していただけたらと考えてのことです。

固定した番線は木の枝に引っ掛けるのにちょうど良い角度で曲げています。

また、トラップの中は下にスポンジが敷いてあります。この季節は雨が多く、元々はトラップの下に水抜き用の穴を開けていただけでしたが、それだけでは目詰まりを起こしてしまい、昆虫が水没していることがあったためです。

このスポンジによって葉っぱなどが入り込んでもスポンジの上に積もるため、雨は葉っぱの隙間からスポンジに流れて水抜き用の穴が目詰まりすることなく雨が流れていくようになります。



////////////////////最後に////////////////////

2005年から開始した甲虫調査は今年で10年目になりました。

昨年度からは「昆虫調査」として装いも新たにカブ森の昆虫層を探り始めています。

まだまだ人員不足ですので昆虫に少しでも興味がある方にご入会いただければもっと充実した調査も可能ですのでこれを読まれた方はぜひ入会をご検討ください。

最後にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました！ Special Thanks!

(文責:世話役 新牛込誠)